

文教警察企業常任委員会資料 (当初分)



令和7年3月11日
企 業 局

I 予算議案

1	令和7年度宮崎県公営企業会計当初予算（案）のポイント	．．．	3	ページ
2	令和7年度宮崎県公営企業会計当初予算（案）の概要	．．．	4 ～ 6	ページ
3	提出議案			
	議案第17号 令和7年度宮崎県公営企業会計（電気事業）予算	．．．	7 ～ 10	ページ
	議案第18号 令和7年度宮崎県公営企業会計（工業用水道事業）予算	．．．	11 ～ 14	ページ
	議案第19号 令和7年度宮崎県公営企業会計（地域振興事業）予算	．．．	15 ～ 18	ページ
	（参 考） 知事部局等への経費支出予定額	．．．	19	ページ
4	主な新規・重点事業			
	綾第二発電所大規模改良事業（継続費）	．．．	20	ページ
	綾第一発電所南機水車発電機一部改良及び精密点検工事（継続費）	．．．	21	ページ
	石河内第一発電所1号自動制御装置更新及び水車発電機精密点検工事（継続費）	．．．	22	ページ
	古賀根橋ダムほか放流ゲート遠隔操作設備設置工事（継続費）	．．．	23	ページ
	D X推進通信基盤整備事業	．．．	24	ページ
5	その他主要事業の概要	．．．	25	ページ
6	決算特別委員会の指摘要望事項に係る対応状況について	．．．	26	ページ

II その他報告事項

・	宮崎県企業局経営ビジョンの改定について（素案報告）	．．．	27 ～ 29	ページ
---	---------------------------	-----	---------	-----

1 令和7年度宮崎県公営企業会計当初予算（案）のポイント

(1) 将来に向けた安定経営のための基盤整備

老朽化した施設・設備の計画的な更新・改修を行い、将来にわたって安定的に経営を行うための基盤を整備する。

(主な事業)

○綾第二発電所大規模改良事業（継続費）	1,830,737千円
○綾第一発電所南機水車発電機一部改良及び精密点検工事（継続費）	1,555,851千円
⑨石河内第一発電所建屋改修工事	150,000千円
⑨石河内第一発電所1号自動制御装置更新及び水車発電機精密点検工事（継続費）	20,350千円

(2) 経営環境の変化への的確な対応

頻発する自然災害をはじめ、カーボンニュートラルの実現や産業のデジタル化・DXなど、企業局を取り巻く経営環境の変化に的確に対応する。

(主な事業)

○猿瀬発電所ゴム堰復旧工事（継続費）	177,000千円
⑨古賀根橋ダムほか放流ゲート遠隔操作設備設置工事（継続費）	99,550千円
○工業用水道施設浄水場浸水対策工事（継続費）	70,000千円
○工業用水道施設の維持・更新計画等のあり方検討業務	26,400千円
⑨工業用水道施設取水口維持管理用道路設計業務	21,035千円
○DX推進通信基盤整備事業	11,311千円

(3) 地域貢献に資する取組の推進

局の設置理念「本県の産業経済の振興と住民の福祉の増進」に基づき、地域貢献に資する取組を推進する。

(主な事業)

○緑のダム造成事業	65,857千円
○県営発電所周辺地域振興事業	13,000千円
⑨内水面漁業活性化総合対策事業	9,000千円

2 令和7年度宮崎県公営企業会計当初予算（案）の概要

(1) 電気事業

【業務の予定量：年間供給電力量 409,425,000kWh】

(単位：千円)

区 分		令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	増 減
収益的収支	事業収益	5,452,748	4,850,372	602,376
	事業費	6,599,989	7,298,857	－698,868
	収支残	－1,147,241	－2,448,485	1,301,244
資本的収支	資本的収入	81,077	70,142	10,935
	資本的支出	3,617,434	3,787,429	－169,995
	収支残	－3,536,357	－3,717,287	180,930

(2) 工業用水道事業

【業務の予定量：給水事業所数 16社 年間総給水量 35,835,700m³】

(単位：千円)

区 分		令和7年度当初予算	令和6年度当初予算	増 減
収益的収支	事業収益	377,672	383,552	-5,880
	事業費	465,382	454,098	11,284
	収 支 残	-87,710	-70,546	-17,164
資本的収支	資本的収入	0	1	-1
	資本的支出	169,334	345,104	-175,770
	収 支 残	-169,334	-345,103	175,769

(3) 地域振興事業

【業務の予定量：年間施設利用者数 29,000人】

(単位：千円)

区 分		令和 7 年度当初予算	令和 6 年度当初予算	増 減
収益的収支	事業収益	20,320	23,521	－ 3,201
	事業費	18,959	30,999	－ 12,040
	収 支 残	1,361	－ 7,478	8,839
資本的収支	資本的収入	0	0	0
	資本的支出	20,239	18,974	1,265
	収 支 残	－ 20,239	－ 18,974	－ 1,265

議案第17号

令和7年度宮崎県公営企業会計（電気事業）予算

(1) 業務の予定量

年間供給電力量 409,425,000 kWh

(2) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増 減	備 考
事業収益	5,452,748	4,850,372	602,376	
営業収益	4,967,443	4,472,248	495,195	
電力料	4,907,336	4,413,360	493,976	11発電所における電力料
営業雑収益	60,107	58,888	1,219	行政財産使用料等
附帯事業収益	84,470	82,392	2,078	
電力料	81,470	81,729	-259	小水力発電、太陽光発電電力料
附帯事業雑収益	3,000	663	2,337	多目的ダム管理費負担金
財務収益	234,223	221,529	12,694	
受取配当金	94,218	78,690	15,528	株式配当金
受取利息	100,140	107,211	-7,071	資金運用による受取利息
基金収益	39,865	35,628	4,237	基金運用による受取利息
営業外収益	166,612	74,203	92,409	消費税還付金等
特別利益	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 当初予算	令和 6 年度 当初予算	増 減	備 考
事業費	6,599,989	7,298,857	－ 698,868	
営業費用	6,388,655	6,718,615	－ 329,960	
職員給与費	1,200,572	1,144,941	55,631	
修繕費	1,477,712	1,342,951	134,761	綾第一発電所南機水車発電機精密点検等
水利使用料	164,465	165,580	－ 1,115	
委託費	336,282	367,374	－ 31,092	送電線路維持管理業務等
諸費	509,341	532,478	－ 23,137	負担金等
減価償却費	1,140,582	1,169,372	－ 28,790	
固定資産除却費	711,196	1,319,086	－ 607,890	綾第二発電所大規模改良事業等
その他	848,505	676,833	171,672	各種関連費振替額等
附帯事業費用	70,419	73,509	－ 3,090	小水力発電、太陽光発電に係る費用
財務費用	3,129	5,192	－ 2,063	企業債等の支払利息
営業外費用	87,786	251,458	－ 163,672	雑損失
特別損失	0	200,083	－ 200,083	
予備費	50,000	50,000	0	
収支残	－ 1,147,241	－ 2,448,485	1,301,244	

(3) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増 減	備 考
資本的収入	81,077	70,142	10,935	
工事負担金	11,110	175	10,935	
貸付金返還金	69,967	69,967	0	工業用水道事業会計等からの返還金
資本的支出	3,617,434	3,787,429	－169,995	
建設改良費	3,465,348	3,607,422	－142,074	綾第二発電所大規模改良事業等
企業債償還金	52,086	79,947	－27,861	企業債の元金償還
雑支出	0	60	－60	
予備費	100,000	100,000	0	
収支残	－3,536,357	－3,717,287	180,930	

※資本的収支不足額 3,536,357千円の補てん財源内訳

・減債積立金	52,086千円
・建設改良積立金	577,000千円
・過年度分損益勘定留保資金	2,707,679千円
・消費税資本的収支調整額	199,592千円
計	3,536,357千円

(4) 継続費

ア 営業費用

総額及び年割額

(単位：千円)

事業名 年度	石河内第一発電 所1号自動制御 装置更新及び水 車発電機精密点 検工事	古賀根橋ダムほ か放流ゲート遠 隔操作設備設置 工事	古賀根橋ダム電 力線地中化工事	計
令和7年度	0	550	2,200	2,750
令和8年度	41,300	0	3,300	44,600
計	41,300	550	5,500	47,350

イ 建設改良費

総額及び年割額

(単位：千円)

事業名 年度	石河内第一発電 所1号自動制御 装置更新及び水 車発電機精密点 検工事	古賀根橋ダムほ か放流ゲート遠 隔操作設備設置 工事	古賀根橋ダム電 力線地中化工事	古賀根橋ダム取 水口スクリーン 除塵機設置工事	工事管理システ ム構築事業	計
令和7年度	20,350	99,000	25,300	0	18,912	163,562
令和8年度	386,650	165,000	35,200	160,000	28,368	775,218
令和9年度	－	－	－	317,400	－	317,400
計	407,000	264,000	60,500	477,400	47,280	1,256,180

議案第18号

令和7年度宮崎県公営企業会計（工業用水道事業）予算

（1）業務の予定量

給水事業所数 16社
年間総給水量 35,835,700 m³

（2）収益的収入及び支出

（単位：千円）

科 目	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増 減	備 考
事業収益	377,672	383,552	－5,880	
営業収益	341,624	340,630	994	
給水収益	338,879	337,971	908	給水料金
営業雑収益	2,745	2,659	86	行政財産使用料等
営業外収益	36,048	42,922	－6,874	
受取利息	18,156	18,204	－48	資金運用による受取利息
消費税等還付金	0	6,779	－6,779	
長期前受金戻入	17,779	17,851	－72	補助金等の収益化相当額
営業外雑収益	113	88	25	
特別利益	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 当初予算	令和 6 年度 当初予算	増 減	備 考
事業費	465,382	454,098	11,284	
営業費用	448,817	442,856	5,961	
職員給与費	73,099	71,536	1,563	
動力費	48,329	41,323	7,006	ポンプの電気料等
薬品費	8,745	7,260	1,485	濁水処理用薬品費
修繕費	39,069	41,658	- 2,589	取水口堆積土砂除去工事等
委託費	129,592	115,751	13,841	維持・更新計画等のあり方検討業務等
減価償却費	123,481	128,232	- 4,751	
固定資産除却費	388	12,148	- 11,760	
その他	26,114	24,948	1,166	諸費、各種関連費等
営業外費用	10,565	5,242	5,323	
支払利息	198	204	- 6	電気事業会計借入金の支払利息
消費税等	5,850	0	5,850	消費税及び地方消費税納付額
雑損失	4,517	5,038	- 521	保有債券満期による償還差損等
特別損失	0	0	0	
予備費	6,000	6,000	0	
収支残	- 87,710	- 70,546	- 17,164	

(3) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増 減	備 考
資本的収入	0	1	-1	
工事負担金	0	1	-1	
資本的支出	169,334	345,104	-175,770	
建設改良費	99,334	275,104	-175,770	工業用水道施設浄水場浸水対策工事等
借入金償還金	60,000	60,000	0	電気事業会計への元金償還
予備費	10,000	10,000	0	
収支残	-169,334	-345,103	175,769	

※資本的収支不足額

169,334千円の補てん財源内訳

- ・ 借入金償還積立金 60,000千円
- ・ 建設改良積立金 70,000千円
- ・ 過年度分損益勘定留保資金 33,021千円
- ・ 消費税資本的収支調整額 6,313千円

計

169,334千円

(4) 継続費

ア 建設改良費

総額及び年割額

(単位：千円)

事業名 年度	工事管理システム 構築事業	計
令和7年度	1,074	1,074
令和8年度	1,611	1,611
計	2,685	2,685

議案第19号

令和 7 年度宮崎県公営企業会計（地域振興事業） 予算

（１）業務の予定量

年間施設利用者数 29,000人

（２）収益的収入及び支出

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 当初予算	令和 6 年度 当初予算	増 減	備 考
事業収益	20,320	23,521	－ 3,201	
営業収益	18,657	21,959	－ 3,302	
施設利用料	18,530	21,830	－ 3,300	指定管理者からの納付金
営業雑収益	127	129	－ 2	行政財産使用料等
営業外収益	1,663	1,562	101	
受取利息	1,629	1,504	125	資金運用による受取利息
長期前受金戻入	29	57	－ 28	受贈財産評価額の収益化相当額
営業外雑収益	5	1	4	
特別利益	0	0	0	

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 当初予算	令和 6 年度 当初予算	増 減	備 考
事業費	18,959	30,999	－ 12,040	
営業費用	16,566	29,141	－ 12,575	
職員給与費	956	906	50	
修繕費	1,210	11,100	－ 9,890	
諸費	1,418	1,360	58	漁協への助成金等
市町村交付金	1,279	1,374	－ 95	
減価償却費	11,408	11,367	41	
固定資産除却費	36	2,260	－ 2,224	
その他	259	774	－ 515	賃借料等
営業外費用	1,593	1,058	535	
支払利息	76	77	－ 1	電気事業会計借入金の支払利息
消費税等	1,114	565	549	消費税及び地方消費税納付額
雑損失	403	416	－ 13	保有債券満期による償還差損等
特別損失	0	0	0	
予備費	800	800	0	
収支残	1,361	－ 7,478	8,839	

(3) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

科 目	令和7年度 当初予算	令和6年度 当初予算	増 減	備 考
資本的収入	0	0	0	
資本的支出	20,239	18,974	1,265	
建設改良費	7,271	6,006	1,265	コース管理用備品の更新
借入金償還金	9,968	9,968	0	電気事業会計への元金償還
予備費	3,000	3,000	0	
収支残	－20,239	－18,974	－1,265	

※資本的収支不足額 20,239千円の補てん財源内訳

・過年度分損益勘定留保資金	19,710千円
・消費税資本的収支調整額	529千円
計	20,239千円

(4) 継続費

ア 建設改良費

総額及び年割額

(単位：千円)

事業名 年度	工事管理システム 構築事業	計
令和7年度	14	14
令和8年度	21	21
計	35	35

(参 考) 知事部局等への経費支出予定額

(単位：千円)

区 分	支出予定額
知事部局への経費支出	1,222,426
多目的ダム管理費用	690,433
水利使用料	164,961
一般県道田代八重綾線防災対策工事負担金	165,000
退職手当負担金	159,669
宮崎県開発事業特別資金特別会計への繰出金	21,012
緑のダム造成事業	12,351
内水面漁業活性化総合対策事業	9,000
市町村交付金	181,891
県営発電所周辺地域振興事業(市町村に対する補助)	13,000
合 計	1,417,317

綾第二発電所大規模改良事業（継続費）

工務管理課 1,830,737千円 ※全体事業費 16,735,400千円
【財源:全額自己資金】

事業の目的

綾第二発電所は、運用開始から60年以上が経過し、主要機器等に老朽化が見られるため、最新機器へ更新等を行う。

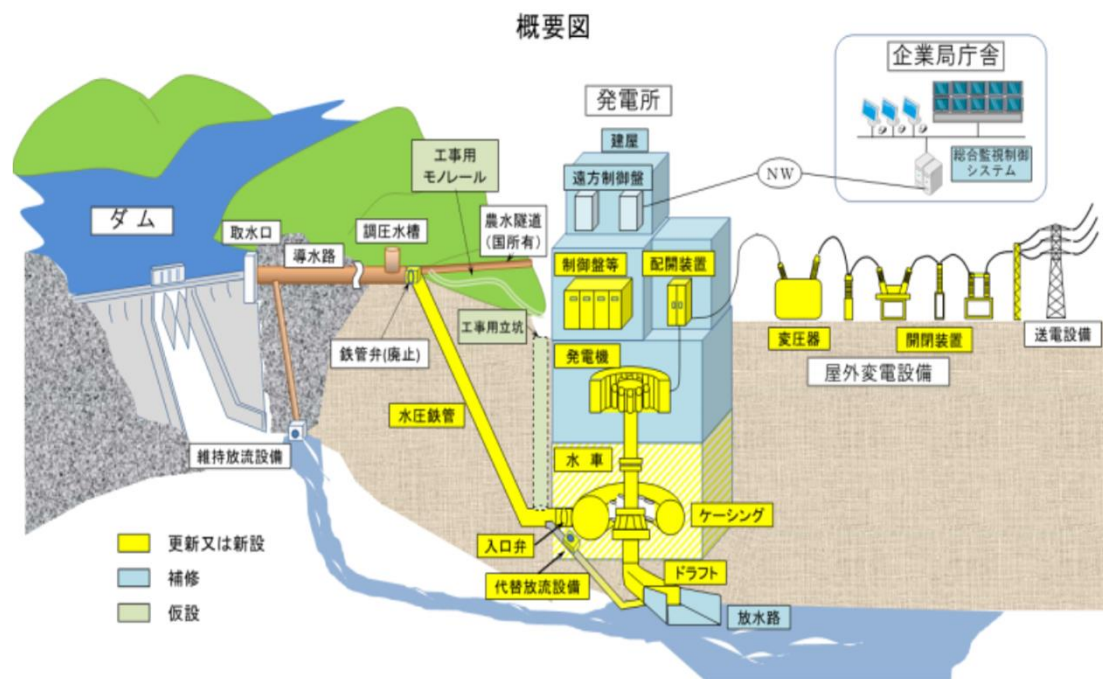
事業の概要

(1) 事業内容

- ① 水車発電機等更新
水車発電機更新、屋外変電設備更新、
水圧鉄管更新ほか
- ② その他
代替放流設備新設、放水路改修、
建屋補強、総制システム改修ほか

(2) 事業効果

老朽化した発電設備等の更新により、電力の供給信頼性が向上し、発電電力量の増加やライフサイクルコストの低減が図られるとともに、再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）の活用による収入の増加が見込まれる。



事業の期間

令和元年度～令和9年度

綾第一発電所南機水車発電機一部改良及び精密点検工事（継続費）

発電設備課 1,854,600千円

※全体事業費 1,995,400千円(引当金取崩額を含む)

【財源:全額自己資金】

事業の目的

修理困難となった機器の廃止に必要な改造又は更新を行うとともに、一部機能障害が生じている機器の更新を行う。

併せて、保安規程に基づき水車発電機の分解点検等を行う。

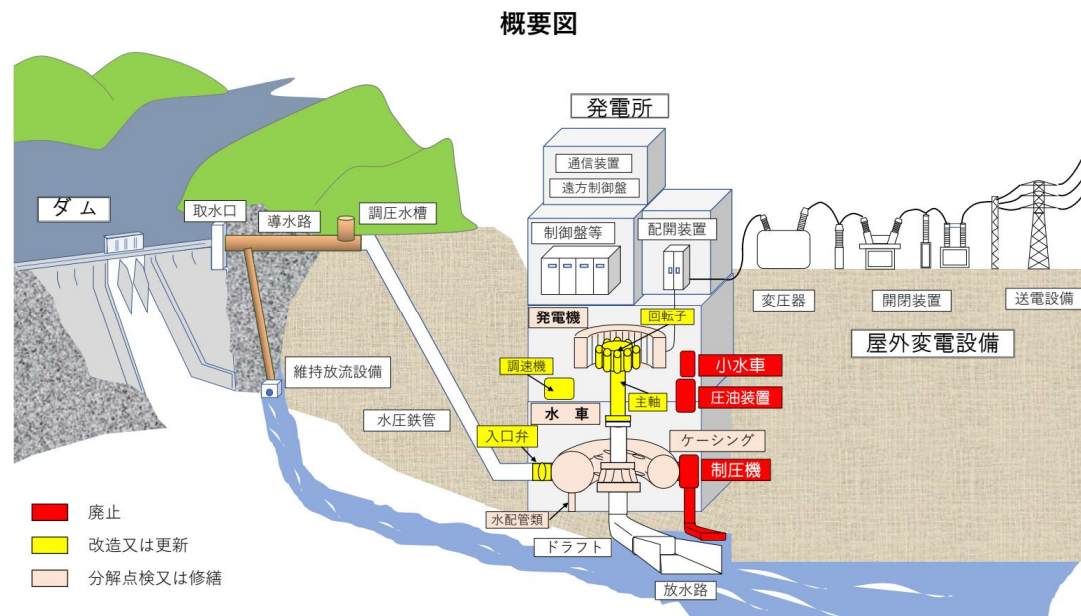
事業の概要

(1) 事業内容

- ① 一部改良
回転子・调速機改造、入口弁更新ほか
- ② 精密点検
水車発電機分解点検ほか

(2) 事業効果

機器の改造、更新及び点検等により信頼性が向上し、電力の安定供給が図られる。



事業の期間

令和5年度～令和7年度

新 石河内第一発電所 1号自動制御装置更新及び 水車発電機精密点検工事（継続費）

発電設備課 20,350千円

※全体事業費 828,300千円(引当金取崩額を含む)

【財源:全額自己資金】

事業の目的

1号発電機の自動制御装置は、近年補修部品の確保が困難な状況であることから本装置の更新及び老朽化した機器の更新を行う。

併せて、保安規程に基づき水車発電機の分解点検等を行う。

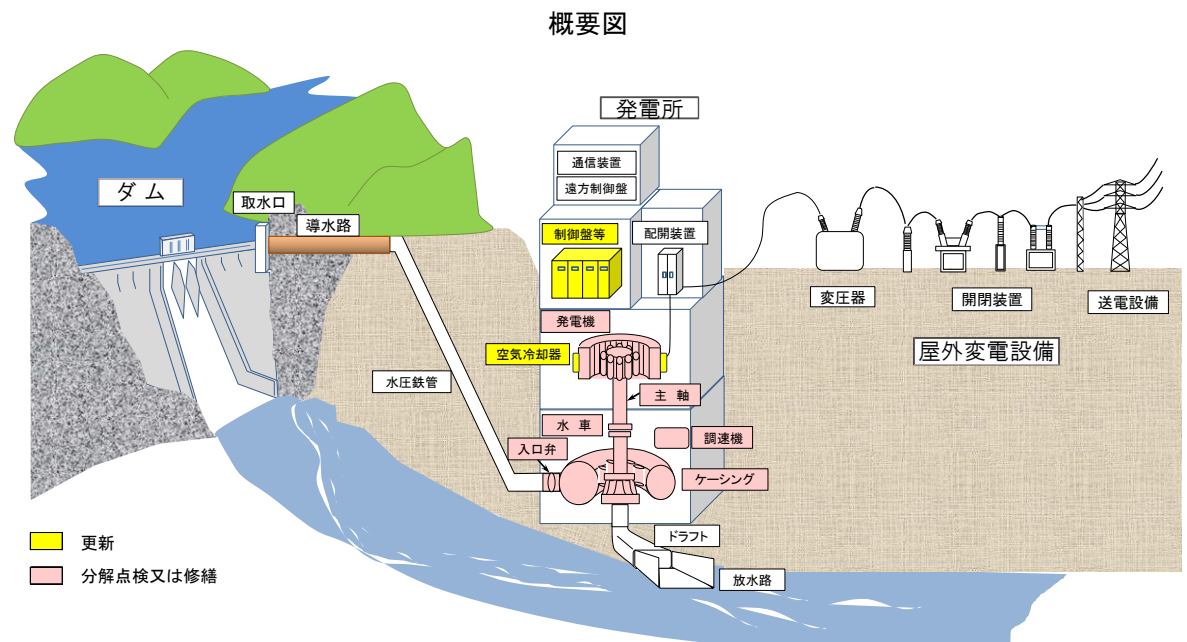
事業の概要

(1) 事業内容

- ① 1号自動制御装置更新
自動制御盤、発電機継電器盤、空気冷却器ほか
- ② 精密点検
水車発電機分解点検ほか

(2) 事業効果

装置の更新及び点検等により信頼性が向上し、電力の安定供給が図られる。



事業の期間

令和7年度～令和8年度

新 古賀根橋ダムほか放流ゲート遠隔操作設備設置工事(継続費)

施設保全課 99,550千円 ※全体事業費 264,550千円
【財源:自己資金258,490千円、農業負担6,060千円】

事業の目的

ゲリラ豪雨による突発的な放流やダムへのアクセス道路の災害による通行止めに対応するため、古賀根橋ダム及び寒川ダムの放流ゲートを企業局庁舎から遠隔操作できる設備の整備を行う。

事業の概要

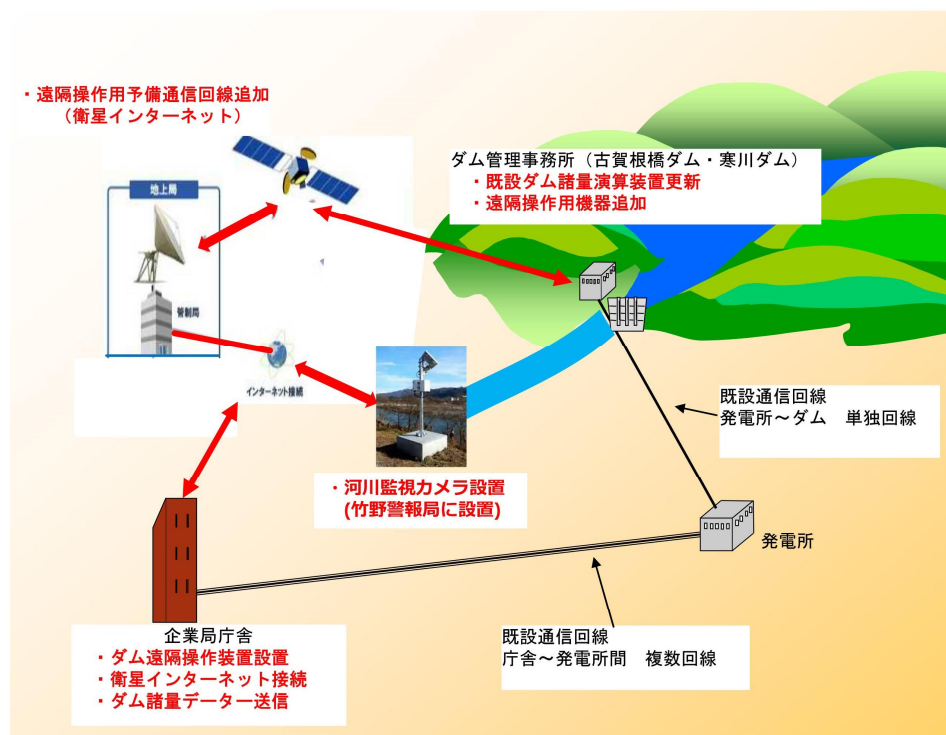
(1) 事業内容

- ① ゲート遠隔操作設備の整備
- ② ダム諸量演算装置更新
- ③ 河川監視カメラ設置
- ④ バックアップ回線整備

(2) 事業効果

- ① 通行止めにより、ダムへ行けない場合の放流ゲート操作
- ② 放流が必要となった場合の放流開始までの時間短縮
上記が可能となり、ダム放流の安全性が向上する。

古賀根橋ダムほか放流ゲート遠隔操作化工事



事業の期間

令和7年度～令和8年度

D X 推進通信基盤整備事業

総合制御課 11,311千円
【財源:全額自己資金】

事業の目的

スマート保安や遠隔臨場等のD Xを推進するため、企業局発電所及びダムでIoT機器やクラウドサービスを有効活用するインターネット環境を整備するものである。

事業の概要

(1) 事業内容

インターネット環境整備

① 令和6年度

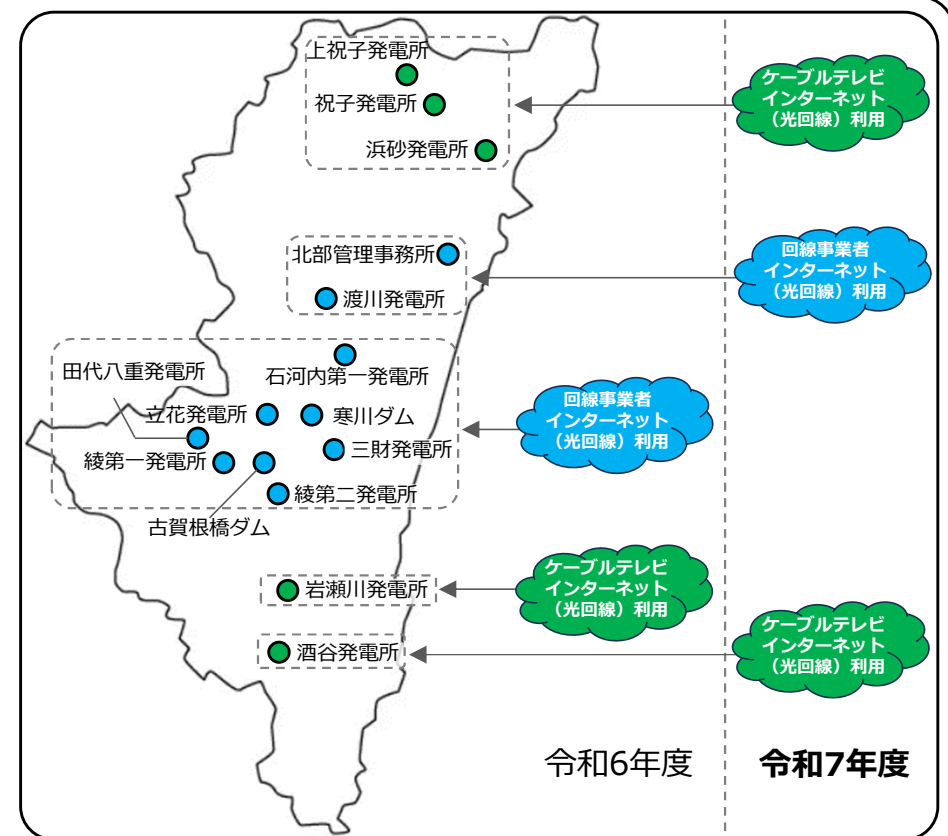
綾川及び三財川水系の5発電所及び2ダム、
岩瀬川及び石河内第一発電所

② 令和7年度

祝子川水系の3発電所、酒谷及び
渡川発電所、北部管理事務所

(2) 事業効果

遠隔臨場やスマート保安等の実施により、
工事監理や現場保守等の効率化が図られる。



事業の期間

令和6年度・令和7年度

- (1) 猿瀬発電所ゴム堰復旧工事（継続費） 177,000千円
令和5年台風第6号により破損したゴム堰の復旧工事を行う。
- (2) ⑧石河内第一発電所建屋改修工事 150,000千円
各発電所の改修工事を計画的に行なっているため、令和7年度は石河内第一発電所上屋の外壁、防水改修工事を実施する。また、照明器具のLED化等の設備更新を行う。
- (3) 工業用水道施設浄水場浸水対策工事 70,000千円
令和4年9月の台風第14号により、浄水場内浸水被害を受けたことから、送水停止のリスク軽減のための浸水対策工事を行う。
- (4) 緑のダム造成事業 65,857千円
未植栽地等を取得して行う植林等に加え、環境森林部が取り組んでいるグリーン成長プロジェクトを支援することにより、水源かん養機能の高い森林を整備し、電力の安定供給につなげる。
- (5) 工業用水道施設の維持・更新計画等のあり方検討業務 26,400千円
令和4年9月策定のアセットマネジメント計画の見直しに伴い、令和6年度に工業用水道施設の維持・更新計画等のあり方検討業務を実施したことから、その成果に基づき詳細検討を行う。
- (6) ⑧工業用水道施設取水口維持管理用道路設計業務 21,035千円
出水時に取水口に堆積する土砂等の対策のため、取水口管理用道路整備する。令和7年度は、土地の取得、測量及び設計を行う。
- (7) 県営発電所周辺地域振興事業 13,000千円
発電所の施設等が所在する市町村を対象として、各自治体が取り組む地球温暖化対策や地域活性化等の事業に対し助成金を交付する。
- (8) ⑨内水面漁業活性化総合対策事業 9,000千円
川の恵みを受けている企業局として、河川環境保全に寄与するため、水産政策課と共同で河川調査や増殖活動、専門部会を実施することにより、水産資源の持続的利用を図る。

(5) 文教警察企業分科会

- ⑭ 宮崎県地域振興事業について、地域の方だけでなく若者への知名度の向上に向けた取組を強化するとともに、長期的な経営シミュレーションを行い、今後の見通しを分析した上で、事業の在り方を検討すること。(企業局)

一ツ瀬川県民ゴルフ場につきましては、これまでもテレビ、ラジオの活用や県内企業へのチラシ配布などによりP Rを行い、利用者の確保に努めてまいりましたが、令和4年度以降は、コースが毎年冠水していることや記録的な猛暑の影響などにより、厳しい経営状況となっております。

若者への認知度の向上に向けた取組としましては、インターネット動画配信サービスや宮崎駅前ビジョンを活用したP R広告の掲載、令和6年度競技力強化指定校である日章学園の練習コースとしての活用などを実施していますが、これに加えて今後、コースの改造、SNS用の動画制作の検討など指定管理者と一体となって取り組んでまいります。

また、今後の経営につきましては、引き続き指定管理者と緊密に連携するとともに、災害頻度やゴルフ人口の変化なども考慮した経営シミュレーションを行い、事業の在り方を検討してまいります。

宮崎県企業局経営ビジョンの改定について（素案報告）

企業局総務課経営企画室

1 改定の理由

企業局では、令和2年3月に策定した「宮崎県企業局経営ビジョン」（以下「経営ビジョン」という。）において10年の計画期間を定め、中長期的な視点に立った経営を行い、効率化、経営健全化に取り組んでいるところであるが、今年度末で策定から5年が経過することから、経営ビジョンの改定を行うものである。

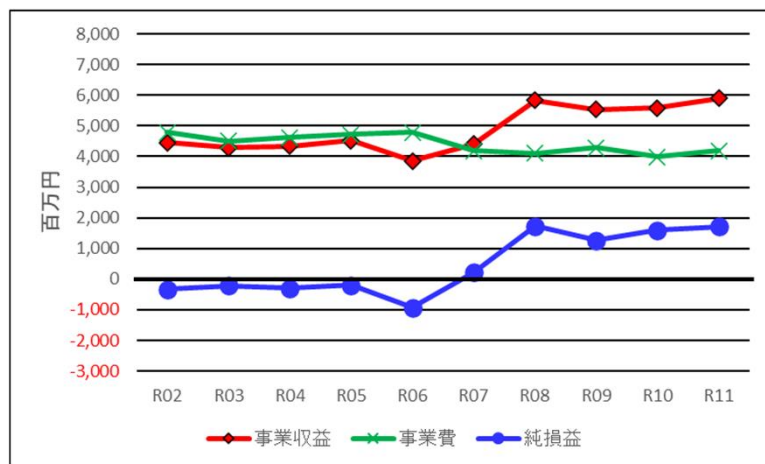
2 改定の概要等

経営ビジョンの改定は、総務省「経営戦略策定・改定ガイドライン」（平成31年3月）に基づくものであり、実行性のある経営戦略とすることを目的としている。改定にあたっての主なポイントは、次のとおり。

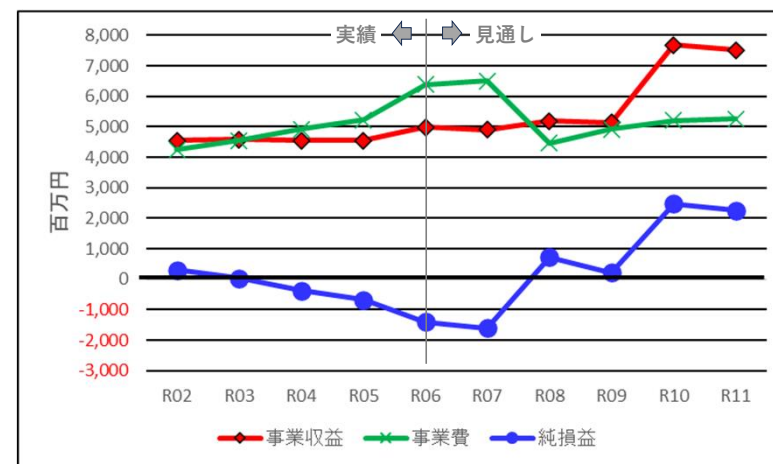
- (1) 経営ビジョン（前期／令和2～6年度）の事後検証
- (2) 事後検証結果を踏まえた経営ビジョン（後期／令和7～11年度）の投資・財政計画の見通し

3 事後検証と投資・財政計画の見通し

○ 電気事業



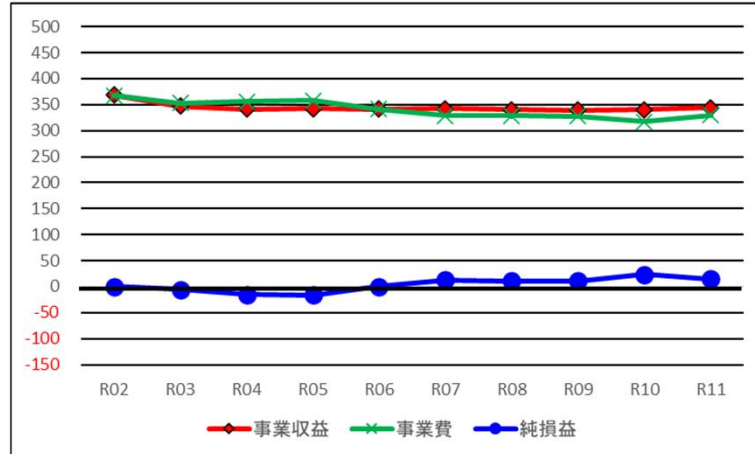
収益的収支（当初）



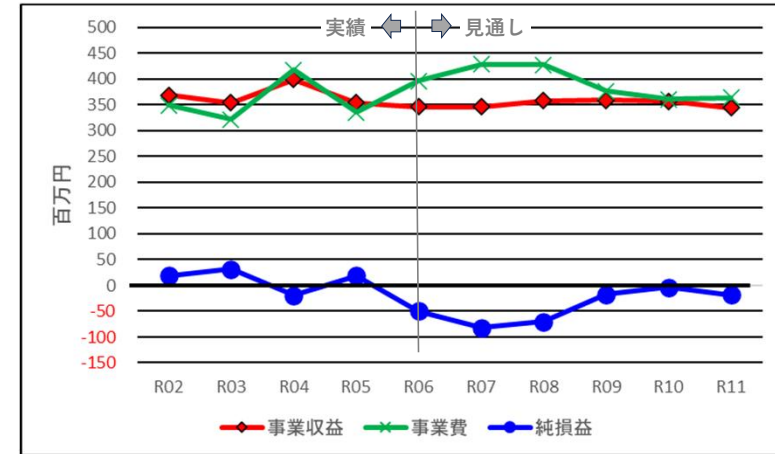
収益的収支（改定案）

- (1) 前期は、綾第二発電所大規模改良事業による発電停止の減収や費用増等により、令和4年度以降は赤字を計上
- (2) 令和10年度以降は、綾第二発電所がFIT運転を開始することから、黒字に転換する見通し

○ 工業用水道事業



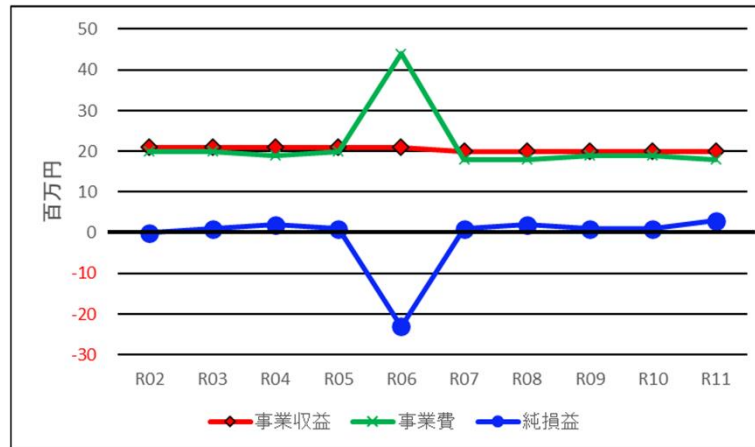
収益的収支（当初）



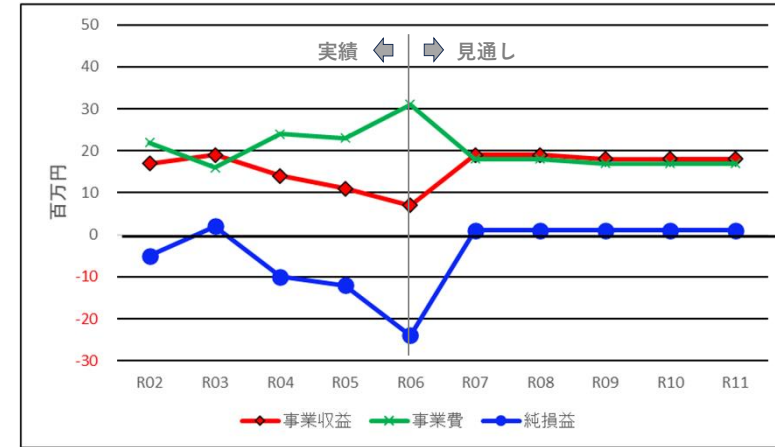
収益的収支（改定案）

- (1) 前期は、令和4年の台風災害や昨今の物価高を除き黒字を計上しており、低廉な料金で安定的に給水
- (2) 後期は、将来の老朽化施設の更新や昨今の物価高などに対応するため、事業運営手法や料金設定のあり方について検討を行う

○ 地域振興事業



収益的収支（当初）



収益的収支（改定案）

- (1) 前期は、令和3年度に利用者が増加したが、冠水によるコースコンディションの悪化等により利用者が減少し赤字を計上
- (2) 後期も指定管理者と連携して運営を行う。経営状況を見ながら、今後の事業のあり方について検討を行う

4 経営の基本方針

○ 電気事業

経営的課題 改良工事への投資や高騰する点検費用が経営に大きく影響

設備的課題 施設の老朽化の進行のため、電力供給に支障が生じる懸念



経営の基本方針

- 老朽化した発電所の計画的な更新による電力の安定供給と安定した収益の確保
- 安定した経営のもと、持続可能な社会構築や経済の振興、県民の福祉増進に貢献

○ 工業用水道事業

経営的課題 設備更新及び改修費用の増加による収支悪化や資金不足の懸念

設備的課題 構築物等の老朽化の進行のため、給水に支障が生じる懸念



- 工業用水を安定的に供給し、施設の健全性を保ちながら、県北地域の産業振興を支援
- 民間活力の導入によるコストダウンの検討と併せて料金改定を検討

○ 地域振興事業

経営的課題 利用者の減少と毎年度の冠水被害による厳しい事業環境

設備的課題 良好なコースコンディションの維持



- 県民誰もが快適にプレイしやすい環境を提供し、健康づくり・生きがいづくりなどに貢献
- 経営状況を見ながら今後の事業のあり方を検討

5 今後のスケジュール（案）

項 目	令和6年度										令和7年度				
	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
作業工程	素案作成									■ 常任委員会 素案報告	パブコメ	最終案作成		■ 常任委員会 最終報告	★ 改定